

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	19047-1	婦人団体育成費	室名	生涯学習室	
	施策体系	基本施策の大綱	02:市民参画・協働と地域づくりの推進	財	会計 一般会計
		基本施策	02:市民参画・協働と交流の場の創造	務	款 教育費
		施策の方向	03:市民交流の促進	科	項 社会教育費
戦略プロジェクト		目	目 社会教育総務費		

② 目的・概要	対象	亀山市婦人会連絡協議会
	目的	地域に根ざし、安心安全、福祉のまちの達成に向け、少子高齢化社会への対応、青少年育成、環境整備、省エネ対策、災害時における助け合いの精神を持ち、目標に向かって他団体と交流を持ちながら活動を進める、亀山市婦人会連絡協議会の活動を支援する。
概要	亀山市内の地区婦人会(亀山・白川・野登・川崎)で、亀山市婦人会連絡協議会を形成しており、地区婦人会の学習を中心とした活動も含め、婦人会全体の事業に対しての助言と助成を行う。	

		27年度	28年度
①	名称	婦人学級数	計画値
	補足	亀山、野登、白川、川崎の4地区で開催している婦人学級の数	実績値 16 単位 学級
②	名称	自主事業の開催回数	計画値
	補足	婦人会員だけではなく、広く亀山市民を対象とした行事の開催回数。(女性向けの講演会、三世代交流など)	実績値 3 単位 回
③	名称		計画値
	補足		実績値
④	名称		計画値
	補足		実績値

年度計画				年度実績							
④ 事業の計画・実績	<p>亀山市婦人会連絡協議会創立60周年を迎え、これまでの環境美化活動や三世代交流事業など独自の取り組みや、市行事へのボランティア参加のほか、60周年記念講演会を開催した。</p> <p>5月に子ども総合センター主催のかめやまげんきっこフェスティバルに参加し、地域の食文化の紹介を行った。また、3月には亀山エコーを会場に、婦人学級の作品発表会を開催し、市民に対し地域婦人団体の活動PRを行った。</p>				総人件費 ①		366	平均給与額×③			
					一般職員人件費 ②		76				
					所要人員 ③		0.01				
					臨時職員人件費 ④		290				
					受益者負担額 ⑤						
					受益者負担率		0.0%	⑤ / ⑥			
					事業費	計画額	予算額	決算額	人件費		
					国庫支出金						
					県支出金						
					地方債						
その他											
一般財源		890	890								
再掲	翌年度への繰越額										
	前年度からの繰越額										
	総人件費		①	366							
	総コスト		⑥	1,256							

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<p>婦人会全体が低調化する中で、創立60周年を迎えての記念事業を行い、婦人会事業の実施意義について再共有した。講座はボランティア活動とあわせて婦人会活動の柱として展開したものとなっている。また、福祉部局開催の「かめやまげんきっこフェスティバル」における地域食文化の紹介など婦人会ならではの取り組みもあり、これまでの活動成果を踏まえて存在価値を再認識することができた。</p>	総合判定	A
	【反省点・課題】	<p>地域におけるボランティア活動の担い手として存在意義は年々増して一方で、会員の世代交代が進まず、会員数は減少の歯止めがかからない。持続可能な会運営のあり方について、地域まちづくり協議会の女性部なども意識を共有する必要がある。</p>	順調に進んだ	
	【改善の方向性】	<p>地域まちづくり協議会の展開と合わせて地域課題解決の担い手として婦人会への意義を共有する。</p>		
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 生涯学習室長 亀山 隆	